

あいち農産物生産流通レポート

平成21年11月号

情報サロン		
・「国産花き消費拡大、産地・品種表示普及イベント」について (東京事務所).....		1
地域トピックス		
・「花半島事業フラワーフェスティバルin半田」が開催されま した (知多農林水産事務所).....		2
東日本情報		
・首都圏で行われたイベント情報について (東京事務所).....		3
西日本情報		
・あいちの食育いきいきシンポジウムを開催しました (食育推進課).....		5
フラワーページ		
・あいちの鉢物PRについて (愛知県花き温室園芸組合連合会 木村 治彦).....		7
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		8
・名古屋・東京市場における青果物の11月の見通し		9
花 き		
・切花・鉢花の11月の見通し(県内市場)		21
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2009年8月)		25
関連指数		26

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

「国産花き消費拡大、産地・品種表示普及イベント」について

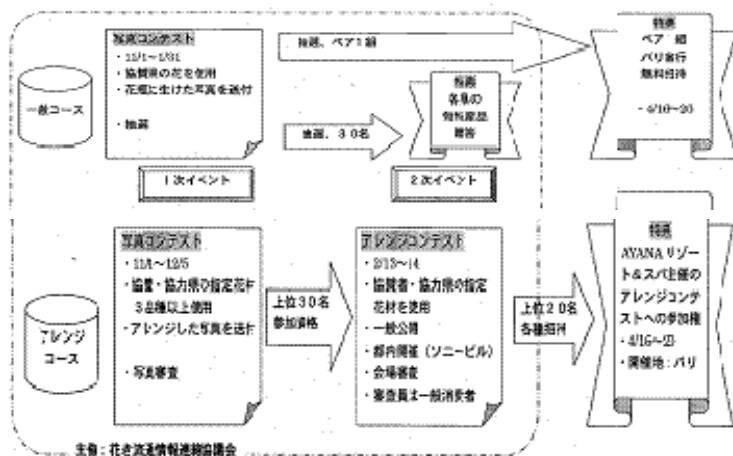
東京駐在の花き主産県、JAで組織している花き流通情報連絡協議会では、今年度から国産花き消費拡大、産地・品種表示普及のために「お花をさがして、バリへGO!!」というイベントを行うことになりました。

これは、花きの需要は年々縮小傾向にあり、価格が低迷している点、その原因の一つとして、花屋さんが産地・品種表示をしないため、花を買う消費者の選択肢が狭まっていると考えられ、花の消費拡大に繋げるために、「産地」・「品種」表示の必要性をイベントを通して訴える、ということを目的としたイベントです。

内容は、「一般コース」、「アレンジコース」の2コースが用意されています。

「一般コース」は、指定された県産の花を使って花瓶に生けた写真を送付すれば、抽選で1組がバリ旅行を、30名には旬の特産品が当たるといったもの。

「アレンジコース」は、一次コンテストで指定された県の花材を3種類以上使ったアレンジの写真を書類選考し、上位30名が二次コンテストであるアレンジコンテスト(来年2月13、14日東京銀座ソニービル)に参加し、上位20名がバリのホテル主催のコンテストに参加する権利が得られるというものです(下図イメージ参照)。



このイベントをきっかけに、花屋さんにも産地と品種表示を普及させ、花も生鮮食品のように産地や品種を選んで購入できるようにすることで、消費者には、花だけでなく産地のことにも興味を持ってもらい、需要を拡大することが目標です。

今年8月に農水省が発表した花き産業振興方針によると、平成19年に二人以上の世帯の切花購入金額は1万円強、6割の世帯が1年間に一度も切花を購入していない実態を改善できればと思うのですが…。11月1日にはこのイベントのHP(<http://www.jfma.net>)が開設されます。一般コースなら愛知県産の花さえ手に入れれば気軽に応募できます。夜も長くなってきました。家族団らんのひとときはいかがでしょうか？

「花半島事業フラワーフェスティバルin半田」が開催されました

平成21年9月26日(土)に半田市の新美南吉記念館の駐車場で、「2009年花半島事業フラワーフェスティバルin半田(9月26日・27日)」の開会式が行われました。

また、「童話の村秋祭り(9月19日～10月4日まで)」も同時に開催されており、新美南吉記念館の近くの矢勝川沿いに咲いている200万株の彼岸花を見に来る人達もあわせ、会場は大盛況でした。

「花半島事業フラワーフェスティバル」は花半島事業構想の集大成として、平成19年に東海市で第1回目が開催され、平成20年には第2回目が阿久比町で、第3回目の平成21年度は半田市で開催となりました。(22年度は東浦町での開催が予定されています。)

会場では、知多半島5市5町及び知多ソフィア観光ネットワークが展示ブースを設け、それぞれの市町で栽培されている花きで、特徴のある風景等を来場者に紹介していた。半田市のブースは、「彼岸花とごんぎつね」や「地元のちんとろ祭り」など童話のふるさとのイメージしてを現していました。

また、花苗の無償配布、地元でとれた野菜や果物や花の販売、食バザーコーナー、花関連コンテスト等様々な催しが行われ多くの方々が参加していました。

JA あいち知多花半島事業構想

花半島事業推進本部(事務局:JAあいち知多生活部)が中心となり、「知多半島をより一層快適な空間にしていくために、四季を通じて花の咲き乱れる地域を目指し、同時に、愛知県有数の花の産地である知多半島のイメージアップとこれらを通じて、知多半島の農業振興・地域振興に寄与する」ことを目的に、知多半島5市5町及びJAの助成により運営



開会式



半田市のブース

首都圏で行われたイベント情報について

今回は10月に行われた2つのイベントについて紹介します。

1 グルメ&ダイニングスタイルショー

10月14日～16日、東京ビッグサイトにおいて、食卓を彩る付加価値の高い食材やキッチングッズなどの生活雑貨などを紹介する展示・商談会「グルメ&ダイニングスタイルショー秋2009」が開催されました。会場は 全国51カ所の市町村商工会が地域特産品を展示する「ニッポンいいもの再発見」コーナー 全国17カ所の商工会議所が「小規模事業者新事業全国展開支援事業」で開発された商品などを中心に地域特産品、観光資源のPRをおこなう「feel NIPPON」コーナー 企業・法人105社によるこだわり食品を扱うコーナーに分けられ、試食・試飲を通じたアイテムのPRがおこなわれました。



こしがや鴨ネギ鍋

この中で印象に残った商品について紹介します。越谷市商工会では農商工連携によるこだわりの「こしがや鴨ネギ鍋」ギフトセット(1セット2～3人前、8,380円)を提案しています。もともとあった「越谷ねぎ」と市内にある「宮内庁鴨場」をもとに越谷の新しいまちおこしとして考案された特産品で、ネギ、合鴨ロース肉、合鴨米、原木しいたけ、鴨つくね、焼きネギ煮込みスープなどの食材詰め合わせからなっています



すかQ



祖父江町商工会の出展

な香りがするユニークなお酒でした。

なお、愛知県からも4団体の出展がありました。日本一の銀杏産地である祖父江町商工会は昨年に引き続いての参加であり、「ぎんこなっちゃん」ブランドで、銀杏ラーメン、銀杏羊羹など加工品を並べPRしていました。また、豊明市商工会は桶狭間の合戦をモチーフにした店舗デザインで趣向をこらし、和菓子などをPRしていました。この他にも蒲郡市観光協会、(株)まるや八丁味噌から出展がありました。

(写真)。現在、12月から2月にかけて市内の24店舗が協賛しており、地域ブランドとして知名度がアップしているようです。また、須賀川商工会議所では特産品である夏秋キュウリで造ったリキュール「すかQ」は、試飲してみると確かにキュウリの軽快



豊明市商工会の出展

2 スローフードニッポン2009

横浜ベイエリアで10月23(金)～10月25日(日)「スローフードニッポン2009 国際スローフードウィーク in 横浜」(主催:スローフードニッポン実行委員会)が開催されました。「スローフード」とは、規格・基準化されたファーストフードやインスタント食品のような生産ではなく、地域の風土にあった伝統的な食文化や農業を大切にしようという世界規模の運動であります。23日にはスローフード提唱者であるイタリアのカルロ・ペトリーニ氏が来日し基調講演がおこなわれ、各種セミナー、ワークショップも



スローフードニッポン会場

同時開催されました。同じく23～25日の3日間でスローフードマーケット、アースデイマーケットや燗酒コンテストなど多くの催事が行われました。

この中で、日本全国のスローフード関係者14団体が集まった「スローフードマーケット」に参加している「味の箱舟」ブースについて紹介します。



「味の箱舟」とは、大量生産・大量流通のなかで世界を包み込もうとする食の均質化を「大洪水」に、未来の子供たちに残したい味を「ノアの箱舟」になぞらえた造語です。

イタリアのスローフード協会が中心となり、世界各地で伝統的に栽培されてきた固有の在来品種や加工、発酵食品などの中で5つの基準(おいしさ、限定生産、地域的歴史的つながり、特定集団とのかかわり、消滅の危機)をもとに選定されたもので、世界で700種以上、日本では

八列とうもろこし

22種が認定されています。

会場には、認定された22種のうち「八列とうもろこし」(北海道)「まさかりかぼちゃ」(北海道)「安家地大根」(岩手県)「花作大根」(山形県)「平田赤葱」(山形県)「ハタハタのしょつつる」(秋田県)の3年醸造品などが展示されていました。なかでも、「平田赤ねぎ」は茎が赤いのが特徴で、赤ワイン並みのポリフェノール含量があり、加熱糖度が高いことから、消費拡大の余地がありそうな野菜でした。



平田赤葱

両イベントとも共通する点として、大量生産し大量流通されたものではなく、地域の歴史的食文化を背景として伝承あるいは商品化された農産品が多く出品されていたということです。

これらの商品は販路開拓がこれからといった状況のようですが、このようなイベントを通じて知名度と販売力アップにつながればと考えます。現在の流れは、益々低価格で手軽な食品へと移行する一方で、「こだわり」を求める消費者も着実に増えています。

愛知県内にも女性起業グループが丹精こめて生産している「スローフード」が多くあると思われますが、今後それらの掘り起こしと生産振興、販売流通などが行われることを期待しています。

あいちの食育いきいきシンポジウムを開催しました

平成21年10月15日に豊橋市のアイプラザ豊橋で、「あいちの食育いきいきシンポジウム」を開催しました。

シンポジウムは、愛知県の食育推進計画「あいち食育いきいきプラン」の実施を推進し、食育を県民運動として定着させることを目的として、公募した一般参加者を始め、食育推進関係団体、食育推進ボランティア、教育関係者及び市町村等から650名の参加がありました。

当日は、小学生食育啓発ポスターコンクールの表彰、食育対談、幼稚園児による食育の歌の踊り、パネルディスカッションなどを行いました。

小学生食育啓発ポスターコンクール表彰式

愛知県内の小学4年生から6年生を対象に、食育をテーマにしたポスターを募集し、246校（小学校239校、特別支援学校7校）から3,846点の応募がありました。

当日は、愛知県知事賞、愛知県議会議長賞、愛知県教育委員会賞の表彰を行いました

今後は、これらのポスターを使って食育の啓発を行ってまいります。



受賞者が作品への思いをコメント



愛知県知事賞

蒲郡市立形原小学校4年
田中 景子(たなかけいこ)さん



愛知県議会議長賞

半田市立宮池小学校6年
下地 香澄(しもじかすみ)さん



愛知県教育委員会賞

田原市立赤羽根小学校4年
鈴木 雄太(すずきゆうた)さん

食育対談

名古屋短期大学保育科の小川 雄二（おがわ ゆうじ）先生と、「あまちゃん」の愛称で親しまれている俳優の天野 鎮雄（あまの しずお）さんが、「食育で子どもの体を育て、心を育む」をテーマに対談を行いました。

「家族そろって楽しく朝ごはんを食べることで、体だけではなく心も育つ」など、これからの時代を担う子どもたちや私たちの食と暮らしを考える上で、大変、参考になる対談となりました。



天野さん(左)と小川教授(右)による食育対談

食育の歌「おいしい音だね」の踊り



食育の歌にあわせて踊る幼稚園児とあいタマ君

学校法人曙学園 あけぼの幼稚園の年長児が、食育の歌「おいしい音だね」にあわせて元気な踊りを披露しました。

園児に交じって、愛知のうずら・にわとり応援マスコットキャラクターの「あいタマ君」も登場し、愛知のたまごをアピールしました。

パネルディスカッション

「食を通じて環境に優しい暮らしを築く」をテーマとし、中日新聞編集局生活部・間野 丈夫（まの たけお）部長をコーディネーターに、教育分野から田原市立赤羽根小学校栄養教諭・伊與田 敬子（いよだ たかこ）さん、食品流通分野からユニー株式会社環境社会貢献部部長・百瀬 則子（ももせ のりこ）さん、農林水産業分野から豊橋農業協同組合生活開発部部長・伊藤 友之（いとう ともゆき）さん、消費者関係分野から愛知消費者協会東三河支部グループ田原理事・渡辺 ちぐさ（わたなべ ちぐさ）さんがそれぞれの取組を発表し、今後の環境に配慮した食育推進について県民に提案する機会となりました。



食育啓発展示コーナー



小学生食育啓発ポスター展示

愛知県花き温室園芸組合連合会
鉢物PR委員会長 木村 治彦

あいちの鉢物PRについて

1 あいちの鉢物PR

あいちの鉢物PRを推進するために、県内の花き生産者が組織する愛知県花き温室園芸組合連合会のなかの鉢物4部会（観葉植物、鉢花、洋らん、和物）が協力して、鉢物PR委員会を組織しています。

2 鉢物PR委員会の主な活動

365日を季節の花で彩る「花カレンダー」の作成と、毎年3月にナゴヤドームで行われている日本一の花のイベント「フラワードーム」への参加が主な活動です。また、機会をとらえて鉢物のPR活動を行っています。

3 「花カレンダー2010」

より多くの人に、いろいろな花があることを知ってもらい、花のPRと消費拡大を目指してカレンダーを作っています。継続的なPRが効果的と考え、カレンダーの作成を続けて今年は10作目になりました。

365種類の花は、最近よく出回っている注目の花を載せ、それぞれについて管理方法をマークでわかりやすく表示しています。

今回は、特に10作目ということで、できるかぎり愛知県内の生産者が栽培している花を選び、その花の写真を載せ、生産者のホームページも掲載し、カレンダー掲載植物と関連づけました。

また、花についての豆知識24項目と愛知県の鉢物生産状況をグラフと写真で載せ、花についてちょっと学べるページも設けました。

カレンダーの縮小版を「花図鑑」として付録につけたことです。この「花図鑑」を常に身近において気軽に見てもらい、花についてより知識を深めるとともに、身近に感じてもらうことで、花のPR及び消費拡大につなげたいと考えています。



花カレンダー2010(1月)

4 鉢物PR活動を通じて

4部会が、カレンダーを協力して作成することで、お互いの生産品目について理解を深めるとともに、意外な発見や新たな知識を得ることができ、委員を務めることも、互いのプラスになることを感じています。

今後も、消費拡大を目指した花のPRを継続していき、より多くの方々に自分たちの栽培する花がいかに美しく、心にやさしく、素晴らしいものであるかを伝えていきたいと思っています。

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場（品目：ぎんなん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位 3 産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
20年実績	184	179 (97%)	578	565	熊本 (5%) 鹿児島 (3%)
21年見通し	169	-	600	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>稲沢市を中心に入荷。 今年は裏年にあたり、前年に比べ数量が少ないが、景気の悪化により業務用の引き合いが弱いため、市場への流通量は前年並みにはあると予想される。 品種は久寿、藤久郎中心。晩生の藤久郎は前進傾向で早めに切り上がる見込み。</p>			<p>調理に手間のかかる食品が消費者から敬遠される傾向にあるため、封筒に入れて電子レンジで加熱する等の簡単な殻のむき方をPRすることが必要ではないか。 一度に量を食べられる食品ではないため、消費者のすそ野を広げる試みとして、300g箱等の少量販売を導入する動きがある。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：カリフラワー）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位 3 産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
20年実績	434	27 (8.7%)	162	171	新潟 (25%) 茨城 (17%) 埼玉 (15%)
21年見通し	430	-	170	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>新潟は出荷最盛期を迎える。長野は終盤となり、かわりに茨城、埼玉など関東産の入荷が増えてくる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。</p>			<p>ブロッコリーの消費拡大の影響もあり、作付面積の減少傾向が続いている。 愛知産は品質が高く評価されているが、日量格差のない安定した出荷が望まれる。 今後は温野菜メニューによる業務需要も見込まれるので、ロットを確保し安定出荷をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の11月の見通し

名古屋市中央卸売市場

10月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	16年	35,369	220	254	208	196	北海道 36%
	17年	39,318	174	181	167	173	愛知 19%
	18年	38,661	152	147	151	160	茨城 12%
	19年	36,831	186	180	178	202	長野 6%
	20年	36,502	187	176	198	187	
	計	5カ年平均	37,336	184	-	-	-
21年見通し	36,400	179	-	-	-		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地の切り替わりが進み、愛知など秋冬物の入荷が増えてくる。夏の天候不良、日照不足からばれいしょ、玉ねぎを中心に生育は不作傾向、トマトをはじめとした果菜で台風の影響が出ている。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。							
だいこん	16年	2,586	109	158	99	73	愛知 46%
	17年	2,860	64	79	58	54	千葉 32%
	18年	2,572	48	47	45	53	青森 16%
	19年	2,607	63	60	59	71	北海道 2%
	20年	2,507	77	75	77	78	
	計	5カ年平均	2,626	72	84	67	66
21年見通し	2,500	60	60	60	60		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は前月の産地から切り替わり、愛知、千葉、青森中心。愛知は台風の被害を受けて、出荷に若干遅れが出る見込み。千葉の台風被害は比較的すくない。 入荷量は前年並みで、価格は大幅に下回る見込み。							
にんじん	16年	2,494	177	182	172	174	北海道 61%
	17年	2,602	102	95	107	108	青森 11%
	18年	2,529	93	93	90	96	岐阜 10%
	19年	2,426	119	114	112	131	愛知 9%
	20年	2,641	102	97	82	101	
	計	5カ年平均	2,538	118	116	112	122
21年見通し	2,500	120	110	120	130		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は上旬まで北海道中心で、中旬から岐阜、千葉、下旬から愛知が出てくる。千葉は関東の量販店との契約で、年々中京市場への入荷が減少。台風の影響はまだ出ない見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

10月21日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	16年	120,432	237	276	222	214	茨城 22%
	17年	129,896	189	200	177	189	千葉 20%
	18年	131,809	162	157	156	173	北海道 19%
	19年	128,380	202	194	196	216	埼玉 5%
	20年	121,090	209	201	210	216	(愛知産比率 2%)
	5カ年平均	126,321	200	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	121,400	193	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心で、土物類は前月に続き北海道からの入荷となる。全般的に9月の天候不順と10月の台風により生育に影響がでていたが、徐々に回復し概ね順調な入荷が見込まれる。 全体の入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
だいこん	16年	11,397	94	139	86	65	千葉 70%
	17年	12,712	57	72	55	47	神奈川 8%
	18年	12,130	39	37	36	44	青森 7%
	19年	13,613	56	54	52	62	茨城 6%
	20年	11,611	67	65	70	67	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	12,293	62	72	59	57	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	12,000	55	55	55	55	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心となる。千葉は概ね順調だが、一部で台風による茎葉被害が散見される。神奈川は台風被害が少なく概ね順調で平年並みの入荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
にんじん	16年	6,802	180	196	170	174	千葉 49%
	17年	7,628	96	92	102	95	北海道 32%
	18年	7,861	87	93	89	80	青森 7%
	19年	7,834	119	118	120	120	埼玉 5%
	20年	7,264	117	104	124	124	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	7,478	118	119	120	117	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	7,400	107	110	105	105	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道が終盤となり、千葉を中心とした関東産地からの入荷が本格化する。千葉は、は種期の日照不足と9月の低温で肥大がやや遅れている。北海道は11月出荷の作付面積少なく、上旬には概ね切り上がる見込み。入荷量は前年並みで価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

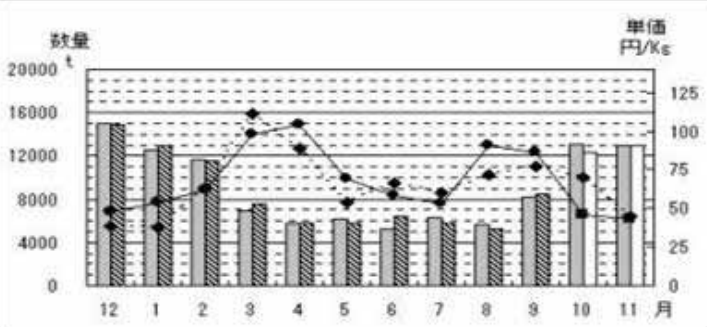
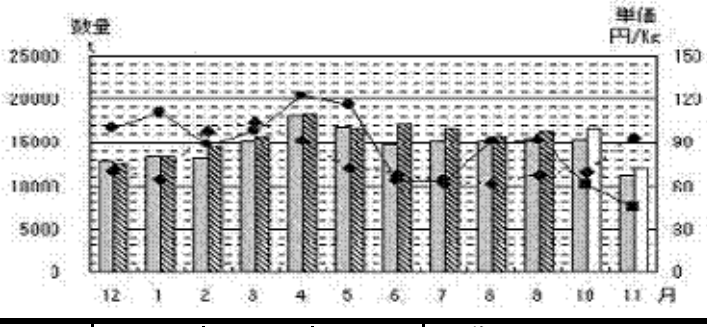
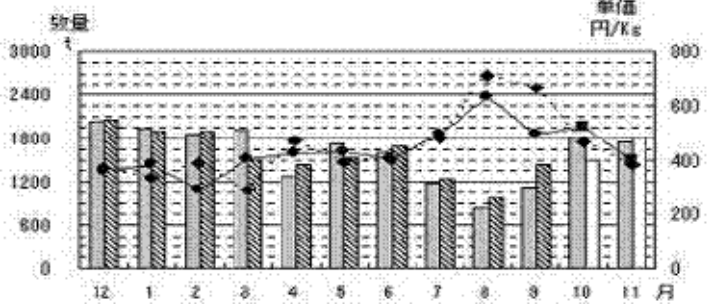
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	16年	3,560	105	154	91	74	茨城 48%
	17年	4,034	64	80	55	56	愛知 26%
	18年	3,912	46	46	40	51	長野 21%
	19年	4,115	58	61	59	54	
	20年	3,942	64	60	66	66	
さい	5カ年平均	3,913	67	79	62	60	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
い	21年見通し	3,900	65	60	65	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は茨城から愛知中心に移行し、長野は終盤。愛知の作付面積は減少。茨城は安定した出荷を見込む。台風は、定植前のもに影響が大きく、年末から年明けにかけて影響が出ると予想される。 入荷量、価格ともに前年並みとなる見込み。</p>					<p>ほうきの数量と単価の推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね2400tから4800tの間で変動し、単価は50円/kgから100円/kgの間で変動しています。</p>
キャベツ	16年	2,950	156	209	135	123	愛知 47%
	17年	3,099	71	79	54	79	茨城 37%
	18年	3,485	39	42	34	40	北海道 8%
	19年	3,651	63	59	56	75	群馬 3%
	20年	3,500	99	94	97	107	
さい	5カ年平均	3,337	83	93	74	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ツ	21年見通し	3,500	65	65	65	65	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、茨城中心で、順調な出荷が見込まれる。台風の影響は年明け以降に出ると予想される。 入荷量は前年並みで、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					<p>キャベツの数量と単価の推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね2000tから4000tの間で変動し、単価は50円/kgから125円/kgの間で変動しています。</p>
ほうれんそう	16年	306	622	863	515	588	愛知 66%
	17年	544	343	376	271	388	岐阜 16%
	18年	542	234	204	244	260	徳島 5%
	19年	475	377	315	376	473	群馬 3%
	20年	396	454	457	452	454	
さい	5カ年平均	453	381	402	351	414	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ん	21年見通し	400	400	420	400	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知が中心で、岐阜の高原ものの残量。愛知は露地物のお荷が遅れたため、ハウスから露地物への移行期に品薄となり一時的に高値になる。 入荷量は前年並みで、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					<p>ほうれんそうの数量と単価の推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね200kgから500kgの間で変動し、単価は300円/kgから900円/kgの間で変動しています。</p>

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	16年	12,449	76	114	69	48	茨城 86%
	17年	13,301	44	50	42	40	長野 8%
	18年	12,824	26	23	21	34	群馬 3%
	19年	12,779	41	44	41	39	北海道 1%
	20年	12,897	45	43	46	47	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	12,850	46	54	44	42	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	12,900	43	45	43	40	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>長野に代わり茨城からの入荷が中心となる。茨城の生育は概ね順調で前年並みの予想だが、産地により台風による外葉の傷みがみられる。長野は生育順調で大玉中心であるが今後、入荷量は減少する見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>		
キャベツ	16年	12,504	146	193	127	119	千葉 51%
	17年	13,459	64	65	54	74	茨城 26%
	18年	13,394	39	40	35	40	愛知 11%
	19年	12,923	63	56	57	78	神奈川 4%
	20年	11,270	93	86	90	107	(愛知産比率 11%)
	5ヵ年平均	12,710	80	87	71	82	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	12,000	60	63	58	58	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>千葉を始めとする関東産地に愛知からの入荷が始まる。千葉は台風被害も軽く生育良好。愛知は台風被害の少ない年内取りの入荷量が前年より多く見込まれている。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>		
ほうれんそう	16年	1,504	549	759	473	475	群馬 37%
	17年	2,211	338	384	272	363	茨城 18%
	18年	2,048	280	256	269	318	千葉 16%
	19年	2,074	371	306	349	493	埼玉 15%
	20年	1,749	383	386	383	379	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,917	374	399	340	402	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	1,800	400	400	380	410	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>関東産地からの入荷が中心となる。群馬は、は種後の干ばつと台風の影響で生育のバラツキが見られるが11月には回復する見込み。千葉、埼玉は台風による葉の傷みはあるが概ね順調に生育。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>		

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ねぎ	16年	1,142	316	345	315	285	北海道 19%	
	17年	1,317	279	287	262	288	富山 16%	
	18年	1,302	291	276	304	292	愛知 14%	
	19年	1,430	361	346	340	396	鳥取 7%	
	20年	1,441	316	297	320	330		
ねぎ	5ヵ年平均	1,326	313	310	309	321	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
ねぎ	21年見通し	1,300	330	350	320	300		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 1800 t			単価 円/Kg 480
		産地は北海道、富山、鳥取、新潟等で、近年産地が分散している。販売傾向は長ねぎが少なく、白ねぎ主体。中国産は減ったが、安値が固定化し単価は低迷。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。						
しそ	16年	1,091	349	451	301	314	茨城 45%	
	17年	2,082	141	186	102	145	兵庫 44%	
	18年	2,123	99	112	74	114	愛知 6%	
	19年	1,898	145	122	127	203	静岡 3%	
	20年	1,472	188	163	204	200		
しそ	5ヵ年平均	1,733	166	183	143	181	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
しそ	21年見通し	1,800	140	150	140	130		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 2800 t			単価 円/Kg 360
		産地は長野がほぼ終了し、茨城が出てくる時期。中旬から兵庫も増加。台風の影響は、下旬の茨城に出る見込み。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。						
きゅうり	16年	1,356	327	401	279	306	愛知 31%	
	17年	1,316	314	350	317	281	宮崎 18%	
	18年	2,316	221	166	233	276	群馬 16%	
	19年	1,298	330	319	378	302	高知 11%	
	20年	945	478	601	482	371		
きゅうり	5ヵ年平均	1,446	311	328	315	300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
きゅうり	21年見通し	1,200	300	320	300	280		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 3000 t			単価 円/Kg 600
		産地は北関東の入荷が減少し、代わって愛知、高知、宮崎が増加。愛知は台風の影響があり出荷が遅れるが、高知、宮崎は被害がなく、本格的に数量増える見込み。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	16年	5,686	244	277	227	232	青森 16%
	17年	6,038	194	186	183	212	茨城 13%
	18年	6,019	209	187	216	225	埼玉 13%
	19年	5,642	291	269	277	327	千葉 11%
	20年	6,155	215	232	192	224	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	5,908	230	229	218	243	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し	6,100	230	220	250	230		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>青森はピークを過ぎ、関東産地からの入荷が本格化してくる。青森の生育は概ね順調。茨城、埼玉の生育は9月の干ばつでやや遅れているが平年並みの入荷量がある見込みである。</p> <p>全体の入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
しそ	16年	4,941	328	413	280	309	茨城 69%
	17年	7,473	136	166	100	146	兵庫 10%
	18年	7,693	88	96	67	104	香川 6%
	19年	7,446	130	107	118	180	栃木 5%
	20年	6,149	165	141	180	176	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	6,740	157	169	137	173	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し	6,200	125	100	130	130		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城からの入荷が中心。茨城の生育は前進傾向にあり、11月には入荷が減少する見込み。兵庫は定植後の干ばつでやや生育遅れがみられる。香川は定植が順調に進み、前年より入荷が多い見込み。</p> <p>全体の入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅうり	16年	5,217	316	377	281	295	埼玉 34%
	17年	4,970	321	340	314	310	群馬 18%
	18年	5,195	217	195	202	263	宮崎 14%
	19年	5,068	321	293	365	305	千葉 9%
	20年	4,173	458	563	446	368	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,925	321	345	316	306	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し	4,300	350	320	350	370		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>関東産地に加えて西南暖地からの入荷が増加してくる。埼玉の生育は回復傾向にあり平年並の入荷見込み。群馬、千葉は不作だった昨年を上回る。宮崎は生育順調で安定した出荷が見込まれる。</p> <p>全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	16年	507	439	528	426	383	愛知 47%
	17年	560	329	314	307	369	熊本 44%
	18年	611	278	233	285	334	山梨 3%
	19年	580	326	308	309	371	高知 2%
	20年	490	368	305	430	376	
	5カ年平均	550	344	333	346	366	
す	21年見通し	500	320	350	320	300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は、愛知の干両、長なすの熊本、夏秋なすは終了。台風で愛知のハウスへの被害が報道されるが、大勢には影響がないと予想される。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
マ	16年	814	432	479	358	482	愛知 34%
	17年	810	469	531	464	425	熊本 31%
	18年	1,039	322	285	319	373	岐阜 14%
	19年	862	427	424	342	564	三重 11%
	20年	790	410	317	445	502	
	5カ年平均	863	407	401	381	465	
ト	21年見通し	850	380	350	380	400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、熊本中心でほかに岐阜、三重など。夏秋ものの残量多い。台風により、愛知の三河、渥美ハウス破損の被害があるが、中京市場への影響は少ないと予想される。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
ミ	16年	182	856	933	858	774	愛知 52%
	17年	197	804	803	870	746	熊本 30%
	18年	230	613	572	604	663	北海道 10%
	19年	200	816	790	829	836	
	20年	177	786	587	879	954	
	5カ年平均	197	768	732	799	787	
ト	21年見通し	180	700	650	700	750	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は、北海道が上旬で終了し、愛知、熊本が増加する。愛知の生育は良好だが、台風の影響が若干出ることが予想される。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。							

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	16年	1,961	418	448	391	420	高知 49%
	17年	2,774	321	288	295	400	福岡 13%
	18年	2,760	297	247	298	369	茨城 7%
	19年	2,941	286	234	268	396	栃木 7%
	20年	2,329	359	306	394	389	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	2,553	330	295	322	393	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	2,100	360	340	350	380	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>関東産地にかわり、西南暖地からの入荷が本格化する。高知の生育は前進出荷傾向で11月は前年より少ない見込み。福岡の生育は概ね順調であり平年並みの予想。茨城は台風のスレ果による出荷減少から回復しつつある。入荷量は少なかった前年をかなり下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					
ト マ ト	16年	4,740	421	448	329	530	熊本 28%
	17年	4,379	466	518	435	443	千葉 19%
	18年	5,778	315	290	299	368	愛知 15%
	19年	4,792	418	388	355	568	茨城 13%
	20年	4,276	419	325	451	513	(愛知産比率 15%)
	5ヵ年平均	4,793	403	389	368	480	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	4,100	420	370	430	430	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>関東産地に加え、西南暖地と愛知からの入荷が本格化する。熊本は好天に恵まれ着果・肥大は良好。千葉の生育は良好であるが着色が若干遅れ気味。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	16年	800	769	761	745	804	愛知 28%
	17年	917	720	683	792	687	熊本 16%
	18年	1,121	528	497	498	597	千葉 14%
	19年	980	734	702	710	798	茨城 11%
	20年	896	721	535	777	888	(愛知産比率 28%)
	5ヵ年平均	943	686	628	694	747	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	950	650	550	650	700	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>関東産地と愛知、熊本からの入荷が中心となる。愛知は台風被害が影響し出荷量はやや少ない。熊本は好天に恵まれ生育は順調である。千葉県は抑制型の出荷が順調で中旬まで潤沢な入荷見込み。全体の入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ピーマン	16年	491	514	579	528	447	宮崎 31%	
	17年	561	372	448	366	318	鹿児島 31%	
	18年	633	193	208	177	196	茨城 16%	
	19年	523	349	398	317	325	高知 14%	
	20年	469	326	251	323	428	(愛知産比率 0%)	
マ	5カ年平均	535	343	371	334	333	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	21年見通し	520	320	280	320	350		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/kg
		産地は宮崎、鹿児島、高知の促成もの。作付面積は前年並みで、定植以降の天候に恵まれ生育は順調。出荷は早まる見込み。豊作のため販売環境は苦しいことが予想される。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年並みとなる見込み。						
ばいしょ	16年	3,145	93	99	90	90	北海道 97%	
	17年	3,804	87	87	85	89	長崎 3%	
	18年	3,307	94	90	99	92	(愛知産比率 0%)	
	19年	2,931	78	75	81	79		
	20年	3,284	80	77	85	79		
い	5カ年平均	3,294	86	86	88	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	21年見通し	3,000	100	100	100	100		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/kg
		産地はすべて北海道。夏の天候あまりよくなかったため、数量は前年以下の状態が続く。収穫も終了し、数量は少なめで、小玉傾向。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。						
たまねぎ	16年	5,876	73	79	72	68	北海道 98%	
	17年	5,955	77	80	80	73	兵庫 1%	
	18年	5,873	74	75	74	74	中国 1%	
	19年	5,636	64	65	62	66	愛知 0%	
	20年	5,689	65	69	67	61		
ね	5カ年平均	5,806	71	74	71	68	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	21年見通し	5,500	85	85	85	85		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/kg
		産地は北海道中心。産地の作柄にばらつき。中旬に貯蔵して、数量が固まる。数量は、契約農家や加工品向けの需要が多いため、市場流通分は少ない。小玉傾向。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	16年	1,746	451	550	416	399	茨城 72%
	17年	1,895	325	378	316	278	高知 9%
	18年	2,216	163	182	153	154	宮崎 8%
	19年	1,931	330	386	288	309	鹿児島 7%
	20年	1,708	319	235	313	427	(愛知産比率 0%)
マ	5カ年平均	1,899	310	340	290	304	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	1,800	320	310	330	340	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城に加えて西南暖地からの入荷が始まる。茨城の生育は品質・肥大とも良好であり、順調な入荷が見込まれる。高知の生育は概ね順調。宮崎は台風の影響で着果が1～2週間遅れている。 全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
ばいしょ	16年	6,607	104	106	104	102	北海道 98%
	17年	6,722	97	97	97	99	長崎 1%
	18年	6,904	107	108	106	107	(愛知産比率 0%)
	19年	7,583	87	86	88	86	
	20年	7,704	92	90	91	95	
い	5カ年平均	7,104	97	97	97	97	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	7,300	120	110	115	125	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道からの入荷が中心となる。天候が安定していたため収穫は順調。夏場の天候不順が大きく影響したため品質低下がみられ、全体に小玉傾向にある。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	16年	9,714	83	84	82	82	北海道 97%
	17年	10,122	90	87	90	93	中国 2%
	18年	10,065	84	86	83	84	(愛知産比率 -%)
	19年	10,518	70	69	70	72	
	20年	9,728	76	76	76	75	
ね	5カ年平均	10,029	81	80	80	81	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	9,250	100	100	100	100	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>春先まで北海道中心の入荷が続く。早生種から中晩生種へと切り替わる。夏場の天候不順が大きく影響し、全体に小玉傾向。 入荷量は少なかった前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	16年	20,293	188	183	203	181	静岡 15%
	17年	18,963	187	182	189	189	岐阜 15%
	18年	14,496	277	275	274	283	フィリピン 15%
	19年	15,287	233	237	227	235	長野 13%
	20年	13,369	240	227	245	246	
	5カ年平均	16,482	220	-	-	-	
	21年見通し	15,800	190	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>露地みかん、柿、りんごは品種が切り替わり、いちごの入荷も始まる。消費が低迷していることから販売環境は厳しい状況が続く。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
みかん	16年	6,002	188	209	188	168	静岡 43%
	17年	6,406	138	159	133	124	和歌山 16%
	18年	4,569	273	276	273	268	愛知 15%
	19年	6,185	158	185	147	145	熊本 11%
	20年	4,624	227	217	231	229	
	5カ年平均	5,557	190	204	187	179	
	21年見通し	6,000	150	165	145	145	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡を中心に、三重、和歌山、愛知等から入荷。表年で花多く作柄は良好で、酸の抜けが早いことが予想されるため、前倒して出荷される見込み。小玉中心。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
かき	16年	2,831	258	237	259	280	長野 69%
	17年	3,757	143	160	155	122	愛知 9%
	18年	2,934	234	226	239	236	富山 6%
	19年	2,757	235	217	249	241	福島 5%
	20年	2,718	172	155	184	175	
	5カ年平均	2,999	205	197	214	206	
	21年見通し	2,780	170	260	250	240	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>富有は岐阜を中心に入荷し、前年より入荷量多いが、次郎は三重、愛知から入荷し、前年よりやや少ない。病害通の発生はなく、作柄は良好。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	16年	52,178	268	256	253	283	愛媛 18%
	17年	60,535	201	199	199	144	山形 10%
	18年	49,247	299	283	296	320	フィリピン 8%
	19年	53,858	239	245	233	238	熊本 8%
	20年	52,083	243	234	243	251	(愛知産比率 2%)
	5カ年平均	53,580	248	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	53,000	210	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん、りんご、かき等が入荷する。りんごは「ふじ」中心で食味良好だが、小玉傾向。山形の洋なしも豊作型である。気象災害の影響も少なく各品目ともに生育は順調であるが、販売状況は厳しい予想。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回ると見込まれる。</p>					
みか	16年	25,683	106	217	205	196	愛媛 40%
	17年	27,868	146	155	154	187	長崎 17%
	18年	20,227	284	284	292	291	熊本 17%
	19年	25,827	169	183	171	159	和歌山 9%
	20年	21,844	230	219	235	233	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	24,290	181	207	206	209	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	26,000	160	150	160	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛媛、長崎、熊本中心に入荷。極早生から早生に切り替わる。今年は表年で、台風被害もなく、外観・食味とも良好で量多い見込みだが、小玉傾向である。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は極早生の価格低迷の影響から前年を大幅に下回ると見込まれる。</p>					
かき	16年	6,184	276	252	280	321	新潟 25%
	17年	9,913	157	176	156	136	奈良 13%
	18年	7,275	266	255	265	289	愛知 11%
	19年	8,170	236	242	233	229	岐阜 11%
	20年	8,751	187	184	186	192	(愛知産比率 11%)
	5カ年平均	8,059	217	217	217	223	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	9,000	180	180	180	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>「平核無」は新潟、「富有」は奈良、福岡、岐阜から入荷する。各産地とも大きな災害もなく、生育順調で潤沢な入荷が見込まれる。全体の入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回ると見込まれる。</p>					

切花・鉢花の11月の見通し

切花（地方卸売市場ヤマエ生花市場 10月26日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ く	実 績	16年	765	49	
		17年	687	53	
		18年	837	41	
		19年	832	45	
		20年	707	56	
	5ヶ年平均	766	48		
21年見通し	700	58			
概要	<p>長野は終了し、愛知中心の入荷となる。台風18号の上陸により、渥美半島を中心に三河地域で被害が大きく、年末から年明けまで影響が残る。出荷目前のものにも被害があり、入荷量は前年を下回ることが予想される。</p>				
小 ぎ く	実 績	16年	448	30	
		17年	414	25	
		18年	473	19	
		19年	451	22	
		20年	454	27	
	5ヶ年平均	448	25		
21年見通し	450	25			
概要	<p>愛知を中心に、静岡、奈良、沖縄から入荷。近郊産が中心となるも、台風の影響により量・質ともに不安。後半から沖縄の入荷が始まる。沖縄は台風被害もなく生育は順調だが、短幹もの出回りが多いと予想される。価格は、需要が少ない月であるため、やや苦しい動きとなる。</p>				
カー ネ ー シ ョ ン	実 績	16年	527	39	
		17年	596	38	
		18年	572	31	
		19年	523	33	
		20年	481	35	
	5ヶ年平均	540	35		
21年見通し	485	34			
概要	<p>愛知、長野、和歌山等から入荷。高冷地産の入荷は減少し、暖地産は徐々に増加、品質は切り始めのため、短幹ものや軟弱ものが多いが、徐々に回復する。価格は、婚礼需要によりスタンダード系の動きは良いが、スプレー系は過度の入荷が続けば苦しい動きとなる。</p>				
か す み そ う	実 績	16年	61	118	
		17年	84	84	
		18年	111	41	
		19年	67	86	
		20年	49	94	
	5ヶ年平均	74	78		
21年見通し	50	95			
概要	<p>熊本、高知、和歌山を中心に入荷。高冷地は終了し暖地産に移行、各産地とも生育順調で前年並みの入荷予想も、和歌山は台風の影響を受け、量・質ともに若干不安。価格は、ブライダル等の需要もあり、堅調な動きとなる。</p>				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	16年	185	175	
		17年	167	205	
		18年	170	161	
		19年	181	199	
		20年	154	176	
	5ヶ年平均		171	183	
	21年見通し		155	178	
概要	てっぼうゆりは高知、岐阜から入荷。生育は順調。オリエント系は高知を中心に暖地産に移行、高冷地産は終盤に向かう。全体の入荷量は前年並み。価格はてっぼうゆり、オリエント系ともに堅調な動きが予想される。				
洋 ら ん	実績	16年	365	61	
		17年	333	68	
		18年	287	66	
		19年	307	79	
		20年	282	72	
	5ヶ年平均		315	69	
	21年見通し		280	73	
概要	愛知、宮崎、徳島等と輸入物が入荷。国内産のカトレア、シンビジウム、コチョウランの入荷は前年並み、輸入物はデンファレ、オンシジウムは順調な入荷も、シンビジウムの入荷はやや少なめ。価格は、業務需要に支えられ、入荷の過度な集中がなければ堅調な動きが予想される。				
ば ら	実績	16年	423	66	
		17年	445	70	
		18年	411	64	
		19年	405	74	
		20年	373	72	
	5ヶ年平均		411	69	
	21年見通し		375	70	
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山等から入荷。高冷地産は終了し、主力は暖地産に移行する。前年並みの入荷量が予想される。価格は、ブライダル需要が多く上位級の動きは堅調も、下位級はやや苦しい動きとなろう。				
枝 も の	実績	16年	1,219	34	
		17年	1,124	35	
		18年	1,053	38	
		19年	1,037	38	
		20年	909	36	
	5ヶ年平均		1,068	36	
	21年見通し		900	35	
概要	静岡、愛知、岐阜等を中心に入荷。気温低下にともない、紅葉物や実物は徐々に終了し、栽培物の主力入荷となる。台風の影響もあり主産地の静岡は量・質的に若干不安。価格は、ディスプレイ用花材は堅調な動きも、稽古用花材の動きは鈍く、苦しい展開か。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	16年	26,467	756	
		17年	19,791	838	
		18年	17,416	919	
		19年	20,345	733	
		20年	16,277	656	
	5ヶ年平均		20,059	780	
	21年見通し		15,000	650	
概要	<p>入荷量はやや減少か。比較的寒さに強いストリクタ、ヒロバドラセナ、ユッカ等の引き合いが強くなる。 昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(42%)、2位鹿児島(27%)、3位沖縄(23%)となっている。</p>				
ショコバサボテン	実績	16年	87,393	411	
		17年	64,672	400	
		18年	57,462	420	
		19年	67,382	395	
		20年	49,610	375	
	5ヶ年平均		65,304	402	
	21年見通し		40,000	350	
概要	<p>生産量が減少しているが、それ以上に需要が低迷しているため、相場は苦戦か。特に6号鉢以上のものが厳しい動きとなりそう。 昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(95%)、2位埼玉(3%)、3位茨城(2%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	16年	910,303	311	
		17年	916,513	296	
		18年	1,025,528	270	
		19年	848,807	318	
		20年	793,405	315	
	5ヶ年平均		898,911	301	
	21年見通し		790,000	300	
概要	<p>最近ポットものへ生産が移行しているため、本来なら5号鉢の入荷が多くなる時期だが、5号鉢の入荷量は減少か。 昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(38%)、2位長野(25%)、3位岐阜(8%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	16年	72,371	2,489	
		17年	52,150	2,778	
		18年	70,189	2,604	
		19年	67,669	2,701	
		20年	60,803	2,400	
	5ヶ年平均		64,636	2,588	
	21年見通し		65,000	2,300	
概要	<p>夏場の天候に恵まれたこともあり、早生品種の生育が順調で、入荷量は昨年より増えそう。ただ、早生品種は花色のパラエティーが少なく、同色入荷増となり、相場は苦戦か。量販店は中旬から、専門店は下旬から本格導入が始まる。</p> <p>昨年11月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（53%）、2位高知（12%）、3位徳島（9%）となっている。</p>				
カラコエ	実績	16年	47,023	213	
		17年	42,877	210	
		18年	50,297	180	
		19年	45,077	195	
		20年	41,379	174	
	5ヶ年平均		45,331	194	
	21年見通し		41,000	170	
概要	<p>周年入荷の代名詞となっているが、この月は季節商品にやや押されぎみで、相場の動きは鈍そう。</p> <p>昨年11月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉（49%）、2位岐阜（41%）、3位愛知・福岡（各4%）となっている。</p>				
パンジー	実績	16年	1,622,528	52	
		17年	1,389,280	50	
		18年	1,411,924	36	
		19年	1,282,495	49	
		20年	1,140,460	41	
	5ヶ年平均		1,369,337	46	
	21年見通し		1,200,000	41	
概要	<p>10月と同様、気候に恵まれたこともあり、入荷量は増えそう。需要・供給とも最大の月となる。</p> <p>昨年11月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（51%）、2位奈良（16%）、3位三重（11%）となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2009年)

1 輸入実績

品名	8月						8月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	37,213	131.0	4,617,098	117.7	124	89.9	369,782	100	35,652,096	92	96	91.9
トマト	279	111.2	66,162	103.1	237	92.7	1,255	116	342,629	100	273	85.8
たまねぎ	16,627	133.9	647,747	159.5	39	119.1	126,308	101	4,778,011	112	38	111.4
にんにく	1,918	90.4	251,070	102.6	131	113.5	13,269	98	1,175,900	86	89	87.9
ねぎ	2,776	107.8	358,100	162.6	129	150.9	20,568	94	2,128,126	91	103	96.5
ブロッコリー	3,379	146.1	513,092	127.2	152	87.1	20,696	91	3,392,633	88	164	97.1
結球キャベツ	281	296.6	14,000	431.7	50	145.6	11,306	335	404,302	297	36	88.7
にんじん・かぶ	4,550	267.1	255,406	265.4	56	99.4	28,140	89	1,529,793	66	54	74.7
ごぼう	2,941	87.3	150,666	96.1	51	110.0	23,057	81	1,007,918	65	44	80.4
えんどう	54	60.7	14,331	67.6	263	111.4	652	91	136,926	94	210	103.9
アスパラガス	186	108.7	118,299	101.5	635	93.3	6,613	107	3,420,134	95	517	88.0
まつたけ	509	184.4	1,209,868	121.8	2,377	66.1	643	150	1,705,705	107	2,652	71.0
しいたけ	107	122.8	27,804	107.5	259	87.6	2,723	94	629,375	89	231	94.4
かぼちゃ	205	813.4	18,357	630.2	90	77.5	81,812	103	4,779,091	80	58	77.2
果実(生鮮・乾燥)	153,900	107.9	17,153,396	98.3	111	91.2	1,429,376	113	161,719,111	101	113	89.8
バナナ	94,803	112.1	7,584,346	109.2	80	97.3	874,854	127	68,444,345	134	78	105.5
パイナップル	12,145	91.1	779,885	92.3	64	101.3	98,000	95	6,640,564	103	68	109.1
レモン	4,945	65.4	492,528	44.8	100	68.4	35,297	83	3,951,656	45	112	54.6
オレンジ	8,561	113.0	831,873	115.9	97	102.5	76,901	95	7,541,609	92	98	96.6
グレープフルーツ	13,242	124.7	813,827	111.4	61	89.3	155,222	98	13,645,756	95	88	97.9
メロン	1,683	107.4	126,058	83.4	75	77.7	22,151	94	2,267,300	84	102	89.0
ぶどう	149	180.6	38,492	139.2	258	77.0	5,444	107	871,054	82	160	75.9
キウイ	7,479	116.9	2,284,020	118.4	305	101.3	46,195	101	14,018,804	103	303	102.0
いちご	554	89.8	492,995	77.7	890	86.5	1,347	96	1,181,999	83	878	86.7
切花(生鮮・乾燥)	3,921	117.1	2,876,235	98.4	733	84.1	23,196	107	17,236,888	97	743	90.1
鳥獣肉類	119,737	70.3	52,647,538	64.1	440	91.1	1,082,549	91	466,958,477	84	431	91.3
牛肉(くず肉含む)	38,905	84.6	15,881,519	68.1	408	80.5	319,346	103	123,457,698	82	387	79.8
豚肉(くず肉含む)	52,585	76.3	27,589,476	75.6	525	99.1	483,191	89	253,242,462	88	524	99.5
鶏肉	21,770	44.5	4,738,380	28.0	218	63.0	218,409	80	55,315,155	70	253	87.2
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	132,840	95.2	73,390,672	82.5	552	86.6	1,156,899	91	609,633,736	83	527	91.1
まぐろ類	18,550	151.6	14,548,448	112.8	784	74.4	143,122	100	129,340,344	87	904	87.6
さば・さんま・あじ・いわし	3,969	54.4	572,709	53.7	144	98.7	70,623	93	12,243,640	96	173	102.6

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	597	80.3	359,559	76.2	603	94.8	11,518	77	3,542,742	68	308	88.0
うんしゅうみかん	5	37.0	4,931	28.8	1,012	77.7	116	61	82,061	76	708	124.4
りんご	186	135.5	70,870	128.1	381	94.5	10,485	78	2,542,346	65	242	82.4
なし	102	44.6	46,260	41.2	452	92.5	114	39	52,498	36	460	91.8
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	192,267	49.1	-	-	-	-	1,882,364	77	-	-
緑茶	178	100.3	292,569	81.7	1,642	81.5	1,272	118	2,214,976	103	1,742	87.3

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成17年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	20年平均	101.7	104.7	102.4	106.9	105.5
	21年 4月	100.8	110.3	89.3	106.2	105.5
	5月	100.6	105.7	104.3	106.0	105.1
	6月	100.4	101.6	105.8	105.5	103.9
	7月	100.1	97.0	97.6	105.4	104.4
	8月	100.4	110.4	105.3	105.0	105.3
	愛 知 県	20年平均	101.7	100.9	101.6	104.8
21年 4月	101.7	103.4	90.1	101.4	104.0	
5月	101.3	100.0	101.3	101.5	105.4	
6月	101.2	100.0	104.3	100.8	104.5	
7月	100.6	96.9	100.4	101.3	104.0	
8月	101.0	109.2	108.7	103.1	104.3	

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	20年平均	97.7	94.7	104.8	100.8	101.6
	21年 4月	97.4	98.7	108.1	76.7	97.6
	5月	94.2	98.6	100.7	82.4	100.0
	6月	93.9	98.4	98.8	101.0	101.2
	7月	92.1	98.5	92.4	105.1	100.8
	8月	97.8	98.3	107.8	100.5	99.0

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、 「コシ加」 以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
20年平均	2,212	150	170	637	420	272	143	331	191	558	605	208	494
21年 4月	2,243	209	261	503	426	354	164	303	207	432	674	189	442
5月	2,240	236	229	572	380	302	142	306	180	401	603	184	467
6月	2,240	150	190	643	323	311	151	325	192	412	496	186	490
7月	2,240	140	161	626	305	320	147	361	199	399	559	184	524
8月	2,240	136	187	663	542	427	210	359	231	487	562	182	708
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1本	100g					
20年平均	553	346	408	150	261	669	614	163	172	328	230	824	492
21年 4月	-	306	338	122	266	605	611	158	166	326	223	732	461
5月	-	296	345	121	263	723	611	177	159	328	223	750	483
6月	-	296	358	-	266	640	600	160	164	318	223	721	477
7月	-	296	394	-	254	724	600	150	158	305	219	714	494
8月	-	309	398	-	254	752	611	165	182	318	224	780	487

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 437
平成21年11月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417